

議 事 録

会議名	令和2年度第2回寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議		
開催日時	令和2年12月7日(月曜日) 14:00～15:30		
開催場所	寒川町健康管理センター2階会議室		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	<p>出席委員：三澤委員(委員長)、中間委員(副委員長)、 小黑委員、菊地委員、森委員、佐藤委員、 鳥山委員、小西委員、福原委員（9名）</p> <p>欠席委員：彦根委員（1名）</p> <p>事務局：亀山福祉部長 仲手川副主幹 柏木主任主事、北野主任主事</p> <p>社会福祉協議会：浅野生活支援コーディネーター</p> <p>傍聴者数：なし</p>		
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーター活動報告 岡田県営住宅地域における生活支援サービスについて 寒川町社会資源マップについて 		
決定事項	寒川町社会資源マップは、必要な校正を加えていく。		
公開又は非公開の別	公開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	<p>< 議事前段の進行 ></p> <p>○委員長挨拶 三澤委員長</p> <p>○議事録承認委員確認 小黑委員、菊地委員</p> <p>< ここから議事 ></p> <p>議題1 生活支援コーディネーター活動報告</p> <p>浅野生活支援コーディネーター（以下「Co」と表記）及び事務局：【資料1を用いて、令和2年7月から11月までの活動について説明】</p> <p>三澤委員長：このことについて、何か意見や質問などはあるか</p>		

中間副委員長：シニア連でも、どこかへ赴く際にその行く足が無いことを理由にイベントなどの参加者が減っているということがある。移送の問題に対し支援をするために勉強会を行うなどしている。個人情報取り扱いについても。
ただし、コロナの影響で今年は行事が全く出来ていない。

三澤委員長：シニア連だけでなく他団体の活動再開などはどうか。

浅野Co：シニア連の活動は夏は熱中症も心配があり、秋口より体操など再開してきている。同時期に活動再開したいというところも少しずつ出てきて、集う形でやるところもあれば、戸別に顔を見にいくところもある。そのほか地域の活動が感染症に気を付けつつ行われている。感染者増えてきたところで、ワクチンの普及まで再開しないというところもある。何もしないわけにもいかないということをみなさん思われている。そのなかで相談されたり工夫されていて、少しずつ動き出している。

三澤委員長：寒川町でも要介護度、認定者数が増えていくことは防がなくてはいけない。手が届かないような方々が心配。どこかに属している方は良いが、そうではない方々にどのようにしていけば良いか。そういった方が一番状態の落ちてしまうところかもしれない。

事務局：町では高齢者と介護予防の一体化の事業を行っているなかで、保健師や管理栄養士がフレイル予防の話をしたり、通院歴などの記録がない方を挙げ、個別に訪問し様子を見させて頂くなどの事業を進めているところ。

三澤委員長：コロナで受診を控えている方もいられると思う。有病率が高くなるのに対してどのように手を差し伸べるか。コロナ禍で新しい生活様式が始まっているなか、どのような形で進めていくかという方向に舵を切っていかななくては、数年後にどうなってしまうか。皆さまと考えていかななくては。
森委員：委員長のおっしゃるように、社協としてもそういったところには力を入れて訪問など包括との連携などから取り組

んでいきたい。

佐藤委員：これまでお元気だった方が集まりに行けなくなるなど、元気がなくなってきたてしまい、認知症状が見られてくるようなケースもある。

浅野Co：実際に、再開した老人クラブの活動に参加して、外に出ることで元気取り戻す方もいる。町歩きや集いのきっかけになるよう、作成中の資源マップなどを活用してもらい、外出の動機付けが出来れば。

議題2 岡田県営住宅地域における生活支援サービスについて

浅野Co及び事務局：【資料2を用いて、岡田県営住宅地域における生活支援サービスについて説明】

三澤委員長：このことについて、何か意見や質問などはあるか。

鳥山委員：岡田県営住宅地域での民生委員による戸別調査、訪問は階段も多く大変。委員替えもあり、独居の方などの安否確認の手法を模索している。今年度はコロナの影響で足踏みしているところもある。他地区では独居の方が救急車で運ばれた際に、家族の連絡先が個人情報のこともあり調べきれず、苦労したことがあった。一人暮らしの方の連絡先のリスト作成をしたいという話も出ているが、個人情報のこともあり、どの程度協力を得られるか。本来なら行われる調査がコロナの影響で進まず残念なところもある。そのようなことから、役員で声掛けをしていくなど、常々から交流していくことで、孤独死などがないようにやっていきたいと話している。

三澤委員長：コロナ禍だからといって高齢者の調査が出来ないなかでも、亡くなる方もいる。その時は民生委員や行政はどうしているかということにもなる。やはりある程度、把握していくことは大事に思う。個人情報のことで自治会のなかを一般の方では調査出来なくなっているが、知らないでは済まされないところではないか。

鳥山委員：一人暮らしになっていることを、周囲に知られたくない方もいる。そうなると自治会長や民生委員で把握する必要があるのでは、という話し合いもしている。

森委員：自治会には防災関係で独自に名簿を作成、活用しているところもある。定期的に情報は更新し、一定の把握が出来ている。個人情報のことから数名の担当役員で管理している。

三澤委員長：個人情報の問題はあがるが、一定の必要性があると思われるが、町としてはどうか。

事務局：地区によって先進的で地域の方の賛同もあり、とても良い取り組みであるが、個人情報のことを踏まえると全体に呼びかけは難しい。

三澤委員長：独居の方などでケアマネージャーが見ている部分があるが、災害時は対応困難。避難所に連れていくこともあった。地域の助け合いが必要。

事務局：寒川町避難行動要支援者きずなプラン(避難支援全体計画)を整備している。大雨の時など有事の際は広域避難所の開設もある。事前の行動、避難も積極的に行ってもらいたい。

中間副委員長：自治会で孤独死の方の対応経験ある。連絡先ひとつで苦労したことがある。有事の際の連絡先は必要。

菊地委員：シルバーでも緊急連絡先の伺いをしているが、なかなか集まらない。何年も経過すると情報が変わってってしまう。家族構成など大まかな情報で広く把握出来ないか。

議題3 寒川町社会資源マップについて

浅野Co：【資料3を用いて、町社会資源マップについて説明】

三澤委員長：このことについて、何か意見や質問などはあるか。背景色が入った部分があるが、字は見易くした方がよい。

	<p>浅野Co：適宜ご意見伺い完成させたい。</p> <p>○その他</p> <p>事務局：第8次寒川町高齢者保健福祉計画における本会議関連事項について説明</p> <p>浅野Co：次回の会議日程は追って調整する。2、3月に予定。</p> <p>三澤委員長：その他、何か意見や質問などはあるか。</p> <p>中間副委員長：生活支援に係る、今あるものや相談先などを見える形に出来ないかと思っている。</p> <p>(閉会)</p> <p>○副委員長挨拶 中間委員</p>
<p>配付資料</p>	<p>配布資料</p> <p>資料1 寒川町生活支援コーディネーター令和元年度活動報告</p> <p>資料2 岡田県営住宅地域における生活支援サービスについて</p> <p>資料3 寒川町社会資源マップ（公園編）案</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>小黒委員、菊地委員（令和2年12月18日確定）</p>